



20枚の札を挟んで熱戦を展開する小学生ら  
—掛川城御殿

色首  
一人  
五百

# 札20枚挟み争奪戦

県内児童  
130人参加

## 掛川で初の県大会

百枚の札を五色に色分けし、二十枚で対戦するよう考案された「五色百

人一首」の初の県大会がこのほど、掛川市の掛川城御殿で開かれた。県内各地の小学生約百三十人が参加。国の重要文化財である御殿の広間を舞台に、熱のこもった試合を繰り広げた。

五色百人一首を考案した向山洋一氏が代表を務める教員の実践研究組織「TOSS」の五色百人一首協会県支部(代表・堀場弘喜掛川市立大淵小教諭)が主催した。子どもたちは二十枚の

札を挟んでそれぞれ一対一で向かい合い、上の句、下の句が読み上げられるたびに、先を争って「ハイ」と手を伸ばした。会場には大会名誉会長を務める塩谷立衆院議員(静岡8区)も足を運び「大いに普及を図ってほしい。こうした工夫ある取り組みは(国としても応援したい」と期待を寄せた。

- 結果は次の通り。
- 青色の部 ①関谷真琴(浜松市立都田小4) ②杉山知加(富士市立須津小6)
  - ▽赤色の部 ①大木彩実(浜松市立南小4) ②小安未来(掛川市立西山口小5)
  - ▽黄色の部 ①宇佐美花穂(富士市立須津小6) ②青野真美(浜松市立可美小4)
  - ▽緑色の部 ①鈴木久貴(富士市立須津小6) ②高羽郁花(浜松市立三方原小4)
  - ▽橙色の部 ①大石若菜(常葉大付属橋小6) ②黒田里佳(掛川市立西山口小6)